

大分教育事務所訪問②-4 (計77)

由布市立川西小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「粘り強く主体的に学び、考え表現し、自信を持って高めあう川西っ子の育成」を達成するために、学校評価の4点セットを月ごとに検証を行い常に改善を図っています。本校のように、実践を行えば成果と共に新たな課題も明確になります。その課題を解決するために、取組の内容の見直しや重点期間の設定が行われます。これこそが成長する組織だと感じました。

さらに、「学校として育成を目指す(教科横断的な)資質・能力」を「思考力」と絞り込み、「自分の考えを自分の言葉で伝えていく」ことを日常的に取り組みようとしています。

今後は、そのような「思考力」について、教職員だけでなく、保護者や地域の方とも熟議をすることで共通理解が図られ、協働的な実践へとつながると思われれます。その際は、以下の資料も参考にされてみてはいかがでしょうか。

※参考資料「小学校学習指導要領解説 総則編 pp.47-53 (2)教科等横断的な視点に立った資質・能力 ①学習の基盤となる資質・能力 :ア 言語能力)」

授業から学ぶ

全ての学級において、子どもたちは学びから逃げることなく、熱心に取り組んでいました。特に低学年の教室では、発表する際はきちんと立ち丁寧な言葉で発言をしており、思いをつぶやく時の言い方と区別していました。教室は公の場であるからこそ、そのようなメリハリは大切ですね。また、掲示物にあった「学校のルールはなぜあるの(3,4年生が考えました)」は、ルールの意義について皆で協議をすることで、それぞれの本質が理解され、子ども達の当事者意識が高まる実践だと思いました。

提出された指導案もよく練られており、組織的に授業研究を行っていますね。今後は、本校が目指す「思考力」を育成するための「課題」の在り方や、子どもが活動している際、俯瞰的に見る場と、個への支援の在り方などを互見授業等で検証し、「自分の考えを自分の言葉で伝える」という、本校の目指す姿について協議されてみてはいかがでしょうか。



NO.350 2021年10月 由布市立川西小学校

かがやく目

教室は公の場だから、発表する時は背筋を伸ばして行い、他の人は自分の考えと比べながら聴く。だから、共に成長する。



NO.351 2021年10月 由布市立川西小学校

わくわく

自分の考えを、音で表現してみる。世界に一つの私の音。どんな音になるか楽しみですね。



NO.352 2021年10月 由布市立川西小学校

にこにこ

タブレットは何度もやり直すことができる。だから、楽しい考えがどんどん浮かんでくる。



NO.353 2021年10月 由布市立川西小学校

しんけんに

だれも見えていなくても、最後までていねいに掃除をする。自分にうそはつかない。